

学校だより ~9月特別号~

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daigonishi-s/>

E-Mail daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp

〒601-1378 京都市伏見区醍醐川久保町1 TEL571-0221 fax571-4629

令和7年 9月 29日
京都市立醍醐西小学校
校長 上西 佳朗



令和7年度 第1回学校評価について

保護者の皆様にはお忙しい中、7月に実施いたしました「学校評価」のアンケートにご協力いただきありがとうございました。また、児童には日頃の学習や学校生活の様子についてふり返る機会として、自己評価を実施いたしました。保護者の皆様からいただきましたご意見と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけとともに、保護者・地域の皆様とともに、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、70通の回答をいただきました。



児童と保護者で同じ内容のアンケート項目<上段:児童 下段:保護者> ※左から①…そう思う ②大体そう思う ③あまり思わない ④思わない				保護者の方・地域の方へのアンケート項目			
1. 楽しく学校へ通えています。	55	31.3	7.3 6.4	9. 学校でほめられます。	36.7	43.1	15.6 4.6
1.お子たちは、楽しく学校へ通っていますか。	59.7	31.3	7.5 1.5	10.おうちでほめられます。	53.2	22.9	16.5 7.4
2.自分からあいさつしています。	42.2	33	19.3 5.5	9.ご家庭で、お子たちをほめていただいているですか。	38.8	50.7	10.5 0
2.お子たちは、自分からあいさつをしていますか。	25.4	43.3	26.9 4.4	11.学校の勉強はわかりやすく楽しいです。	55	32.2	6.4 6.4
3.正しいことばづかいで話しています。	33.9	44	14.7 7.4	10.お子たちは、学校の勉強が分かりやすく楽しそうですか。	29.9	53.7	10.4 6
3.お子たちは、正しい言葉づかいで話していますか。	44.8	37.3	14.9 3	12.おうちを学習しやすいように整理整頓しています。	35.8	29.4	22.9 11.9
4.友だちと仲よくすごしています。	67	24.8	4.2 5	13.ご家庭の学習環境は整っていると思いますか。	14.9	58.2	20.9 6
4.お子たちは、友だちと仲よくすごしていますか。	44.8	37.3	14.9 3	13.「早ね・早起き・朝ごはん」ができます。	37.6	33	19.3 10.1
5.学校でのできごとを自分から家人に話しています。	53.2	21.1	15.6 10.1	14.お子たちは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活習慣が身についていますか。	37.3	32.8	26.9 3
5.お子たちは、学校での様子を家で伝えていますか。	40.3	43.3	11.9 4.5	14.ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っています。	56	22.9	12.8 8.3
6.学校やクラスの約束を守っています。	43.1	39.4	16.5 0	16.お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。	25.4	29.9	29.9 14.8
6.お子たちは、学校や学級の約束を守っていますか。	13.4	40.3	38.8 7.5	15.行事や部活動をがんばっています。	72.5	18.3	3.7 5.5
7.こまったことをそうだんできる人がいます。	63.3	22.9	6.4 7.4	17.学校の行事や部活動は、子どもたちにとって有意義なものになっていますか。	25.4	29.9	29.9 14.8
7.お子たちは、困ったことを相談できる相手がいますか。	46.3	46.3	7.4	16.いじめや仲間はずれをしていません。	69.7	20.2	6.4 3.7
8.将来の夢をもっています。	80.7	12.8	4 2.5	19.いじめや仲間はずれのない学校づくりができますか。	35.8	49.3	10.4 4.5
8.お子たちは、将来の夢をもっていますか。	44.8	37	14.9 3				

第1回学校評価（7月）の分析・考察

★今回の分析は、保護者と児童のアンケート結果の、「そう思う」「大体そう思う」にお答えいただいた割合が多いものと、それに基づく考察をお伝えします。

保護者

18. 学校の様子や取組を、ホームページやおたよりなどから知ることができますか。

59.7 35.8 4.5 0

95.5%の方が肯定的に受け止めてくださっています。また、昨年度1月実施のアンケートと比較しても若干upしています。日頃より、学校だよりや学級だより、ホームページなどを通して、学校の様子や取組に関心を寄せていただきありがとうございます。保護者の皆様がこまめに情報をチェックしてくださっていることが、子どもたちの安心や意欲につながっていると感じています。

昨年度からは「すぐーる」でのお知らせ配信も増え、行事や持ち物、生活面に関する大切な情報をタイムリーにお届けしています。しっかりと確認してくださっている方も多く、ありがたい限りです。一方で、「見ていただいているかな？」と感じる場面もあり、少し心配になることもあります。お知らせを見て話題にしていただくことで、子どもたちが「うちでも話していたよ！」と安心したり、自信を持って行動できたりする場面が増えます。ご家庭での声かけや準備が、子どもたちの笑顔や成長につながっていきます。

今後も、「すぐーる」や各種のおたよりなどを通して、子どもたちの学校生活を支える情報をお届けしてまいります。ぜひ、引き続きご確認いただき、ご家庭でも話題にしていただければ嬉しいです。

児童

1. 楽しく学校へ通えています。

55 31.3 7.3 6.4

4. 友だちと仲よくすごしています。

67 24.8 4.2 5

それぞれ、86.3%と91.8%と、おおむね学校生活や友だち関係の満足度が高いと言えます。

一方で、「楽しく学校へ通えていない」「友だちと仲よくすごせていない」と感じている児童の声もあります。これらの声は、学校生活の中で不安や孤独を感じている可能性があることを示しており、私たち教職員にとって重要な課題です。

今後、すべての児童が安心して過ごせる学校づくりを目指し、以下のような取組を進めてまいります。

- 児童一人ひとりの気持ちに寄り添う面談やアンケートの実施
定期的に児童の声を聞く機会を設け、困りごとや悩みを早期に把握できるよう努めます。
- 学級・学年での人間関係づくりの活動の充実
グループ活動や交流の機会を通じて、児童同士が互いを理解し、認め合える関係づくりを支援します。
- 教職員による見守りと声かけの強化
日々の学校生活の中で、児童の小さな変化にも気づけるよう、教職員が積極的に関わっていきます。
- 保護者との連携の強化
ご家庭との連携を深め、児童の様子を共有しながら、よりよい支援につなげていきます。

BAD (Bad down) 本校の課題

18. 家で読書をしている時間はどれくらいですか。

全くしていない 53.2 1~30分 33 11.9 1.9

24. お子たちの家庭での読書時間はどれくらいですか。

55.2 38.8 3 3

一方、アンケートの結果から、家庭での読書時間が以前よりも減ってきている傾向が見られました。学校では読み聞かせや本の紹介等を通して、子どもたちが本に親しむ機会を大切にしています。家庭での読書習慣の定着には、保護者の皆様のご協力が欠かせません。読書は、心を落ち着け、想像力や言葉の力を育てる大切な時間です。テレビやゲーム、スマートフォンなどの時間を少しだけ減らして、親子と一緒に本を開く時間を持ってみませんか？「読書って楽しいね」と感じるひとときが、子どもたちの心を育み、未来を広げてくれるはずです。本校図書館には多くの本がありますし、近くには醍醐中央図書館もあります。まずは一日10分から。ぜひご家庭での読書時間を意識してみてください。

★前回（昨年度1月）に実施しました第2回学校評価アンケートと比較し、「そう思う」「大体そう思う」にお答えいただいたものをもとにお伝えします。

「将来の夢を持っている」児童の割合が増加！保護者の割合も若干増えています。

前回

72.8 13.6 6.4 7.2

8. 将来の夢をもっています。

30.7 50 17 2.3

8. お子たちは、将来の夢をもっていますか。

今回

80.7 12.4 2.5

44.8 37 14.9 3

児童アンケートでは、R6で86.4%だったのに対し、今回は93.5%に上昇しました。特に高学年ほど夢を持っている傾向が強く、日常の教育活動や保護者の皆様の関わりに加え、「かがやき学習」（総合的な学習の時間）の成果も表れていると考えられます。

このような結果からも、日々の授業や行事、地域との交流、そして「かがやき学習」を通して、子どもたちが自分の興味や関心を深め、将来に希望を持つ力を育んでいることが分かります。特に高学年では、職業体験やキャリア教育の機会を通じて、より具体的な夢を描く姿が見られるようになりました。

また、保護者の皆様の温かい声かけや家庭での会話が、子どもたちの夢の芽を育てる大きな力となっています。今後も、学校と家庭が連携しながら、一人ひとりの「夢」を大切に育てていけるよう取り組んでまいります。

子どもたちが「自分の未来にわくわくできる」ような学びの場を、これからも一緒につくりていきましょう。

自由記述欄に頂いたご意見・ご質問

★持久走大会がなくなってしまった残念です。短距離が速くない息子でも、自分で目標を設定して頑張っているので、やりがいもあったと思います。

⇒ 子どもたち一人ひとりの努力や成長を大切に思ってくださるお気持ちに、教職員一同、深く感謝申し上げます。一方で、持久走大会の実施にあたっては、いくつかの課題がありました。本校ではこれまで、山科川沿いの公共の遊歩道をコースとして使用しておりましたが、練習や本番当日において、通行される地域の方々へのご迷惑や、安全面での懸念が寄せられておりました。学年ごとの移動を行うなどの配慮もしてまいりましたが、応援の声やスタート・ゴール地点での混雑が、近隣住民の方々の生活環境に影響を与える場面も見受けられました。

さらに、近年の学習指導要領の改訂により、体育の授業における「持久走」の位置づけにも変化が見られます。従来のように「長距離を走りきること」や「記録を競うこと」よりも、「自分のペースで動きを続ける力を育むこと」や「楽しみながら体を動かすこと」が重視されるようになってきています。特に小学校高学年では、「体つくり運動」の一環として、無理のない速さでの持続的な運動（例：5~6分間のかけ足）を通じて、全身持久力や健康意識を高めることができます。【小学校・中学校のランニング教育より】

こうした背景を踏まえ、本校では現在、体育の授業や日常の活動の中で、子どもたちが「自分なりの目標に向かって努力する経験」や「継続する力を育む機会」を大切にしながら、より安全で効果的な運動の在り方を模索しております。

★ゲーム、動画など、約束を聞かないので、学校から約束事を作って頂きたい。

⇒ 本校では、年に2回「メディアコントロールDAY」を設け、メディア機器の使い方を見直す機会をつくっています。しかし、現代の生活環境の中では、一時的に頑張れても、その習慣を続けることが難しいという声も多く聞かれます。

今後も、学校と家庭が連携しながら、子どもたちが自分でメディアとの付き合い方を考え、コントロールできる力を育てていけるよう、取り組みを工夫してまいります。ご家庭でも引き続き、ルールづくりや声かけへのご協力を願いいたします。